

## 仙台・宮城ステイネーションキャンペーン の成果と今後の観光事業の展開について

制野 敬一

〔質問〕(1) 宮城県全県をあげての仙台・宮城ステイネーションキャンペーンの成果をどのように捉えられているか伺いたい。

がらお互いの特色を生かした来年以降の方策、方針があるのか伺いたい。

- (2) 今後の展開について
- ① 未整備の名所史跡の整備計画はあるのか。
- ② 隣接市町と連携を図りな

## 地域医療確立の具体的手順について

沼倉 啓介

〔質問〕市長の2期目の市政の骨格が示された。その中でも地域医療の確立について刈田病院の再生をそれらの中心に位置付けられた。

また、それらの具体的手段としてどの様な対応策があると思われるか具体的手順についてお示しを頂きたい。

急を要するそれらの課題について1市2町組合の構成市の首長として現時点でのそれらの姿をどの様に把握されているか。

〔答弁〕〔市長〕(1)この仙台・

宮城ステイネーションキャンペーン(以下、DCと表記します)は、報道では県内エリアの観光客入り込みが前年を上回ったとの発表があった。全国的な戦国武将ブーム、またJRのCMの効果によって本市への観光客は着実に伸びている。これもJRをはじめとする関係機関と連携を図りながら白石の魅力を広く紹介するなどPRに努めた結果であり、関係の皆様方に深く感謝を申し上げる次第である。

本市においてもいち早くDC白石市推進協議会を立ち上げて、官民一体となった取り組みを展開してきた結果だと思っている。

(2)①昭和55年から57年度の3カ年で史跡のまち整備事業を実施して、市内の史跡を18のルートに分けて観光客が周遊できるよう案内板、説明板、標柱など延べ213基を設置したほか、史跡のまちガイドブックを作成している。

その後も随時整備を進めているが、未整備の史跡等もあ

るので、専門家の意見などを聞きながら、重要度、緊急度を勘案して整備を検討したい。

②去る11月3日にいきいきプラザを会場に開催された「みちのくおとぎ民話フェスタ」などはまさに広域連携の成果であり、白石市、七ヶ宿町、山形県南陽市、高島町で構成する国道113号観光推進協議会をはじめとした各種協議会での緊密な連携を図りながら、今後も広域的な事業を推進してまいりたい。

〔答弁〕〔市長〕現在、共通

認識を図るための正副管理者、また院長、看護部長の定期的な集まりを1カ月に1回程度行っており、今後も継続し、市民の命を守る砦を強力に支援することは、必要であると痛感をしている。

議員各位におかれても、地域医療を守る議員の会が結成されている。

よきアドバイスをいただいで、ともにこの刈田病院を守るため、ご支援いただくことをお願いしたい。

